



令和8年4月6日

4月号 No.488

発行責任者

校長 西村 学徳

所在地 福生市熊川 623

令和8年度スタート！ ～多くの感動体験に向けた新たな一歩～

校長 西村 学徳

柔らかな春風に包まれ、桜の花が美しく舞う中、新1年生75名を迎え、全校児童424名で令和8年度がスタートしました。本校の校長として3年目を務めさせていただきます西村学徳です。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

進級した子供たちの瞳は、新しい出会いへの期待に満ち溢れています。この「わくわくする気持ち」を大切に、子供たち一人一人が安心して自分らしさを発揮できるよう、教職員一同、全力で教育活動を進めてまいります。



中央の花壇より

さて、今年度の本校の学校経営方針として、昨年度から掲げている「子供たちに多くの感動体験を！」というテーマを継続し、さらに「安全・安心」な環境づくりを深化・改善させていきます。「目指す学校像」は以下の3点です。

- 子供一人一人が自分の学びの成果や成長を実感し、自己実現できる学校 【児童にとって】
- 保護者や地域に信頼され、子供を安心して通わせられる学校 【保護者・地域にとって】
- 教職員が互いに研鑽し合い、やりがいをもって働ける学校 【教職員にとって】

今年度は、これらの目標を達成するための新たな一歩を踏み出します。学習面においては、昨年度大きな成果を上げた「教科担任制」を中学年以上で完全実施します。低学年においても、一部教科で、時期や学習内容等を考慮しながら学年内の教員による「交換授業」を実施します。専門性の高い教科指導と多くの教員が多角的に子供を見守る体制を整え、学習面・生活面の双方の充実を図ってまいります。

体育科では、今年度より「水泳指導におけるスイミングスクールとの連携」を開始します。民間の専門施設を活用し、インストラクターによる指導を取り入れることで、泳力に応じたよりきめ細やかな指導を実現し、子供たちが「泳げた！」という達成感を味わえる環境を整えていきます。

健康面では、「歯磨き指導」の充実を引き続き重視し、生涯にわたる健康意識を高める教育活動にさらに力を入れてまいります。

令和7年度
卒業生制作
ピアノカバー
への描画



また、本校では今年度、日本語指導加配教員が配置され、都の「日本語指導推進校」ならびに「日本語入門初期指導推進モデル校」の指定を受けています。日本語の習得が必要な児童に対して、校内に新たな指導体制を構築し、日本語の習得状況に応じた一人一人に寄り添う指導や支援を行ってまいります。

これまで以上に、学校と保護者・地域の皆様とのつながりを大切に、子供たちの学校生活がより良いものとなるよう、教育活動の充実に一層努めてまいります。

令和8年度も本校の教育活動へのご理解・ご支援を賜りますよう、どうぞよろしくお願いいたします。